

DG	( 障 が い 者 福 祉 )			
番 号	D V D 名	時 間	内 容	制 作 年
DG-001	典子は、今	117分	サリドマイド薬の副作用で、両腕がない状態で生まれた典子。残された身体で何が出来るか挑戦し続け、市役所に勤めるまでに成長した典子の軌跡を綴った作品。	2007
DG-002	発達障害の理解と支援 ～わかり合おうって、素敵だね！～	64分	さまざまな障害の総称である「発達障害」という概念を、その歴史的経緯をふまえてわかりやすく簡潔に解説。療育の考え方や支援の要点を中心に、専門家による説明、現場担当者のお話、保護者へのインタビューを交えて解説。	2008
DG-003	知ってください 盲ろうについて	20分	盲ろう者とは、目(視覚)と耳(聴覚)の両方に障害を併せ持つ人のこと。盲ろう障害や盲ろう者の置かれている現状についての解説、盲ろう者を対象に総合的かつ専門的な支援を提供している「東京都盲ろう者支援センター」の活動について紹介。	2010
DG-004	見て学ぶ社会生活力プログラム —効果的に進めるためのノウハウ	60分	障害のある人が自立し豊かな生活を送る力を高めるために用いられる社会生活力(SFA)プログラム。オリエンテーション、モジュールの進め方など、セッションの実践映像を収録。プログラムの具体的な進め方のコツやノウハウが学べます。	2012
DG-005	親と教師のための 自閉症の子どもの評価:第1巻 評価の仕方 生活スキル編	65分	画面を見ながら、一緒に評価評価をして学べるように構成され、自閉症の一人ひとりに合った支援の方法や考え方の基礎をつくるきっかけとなることでしょう。	2008
DG-006	親と教師のための 自閉症の子どもの評価:第2巻 評価のポイント	48分	第1巻で始めた評価を「評価のポイント」に沿って解説し、支援の工夫を紹介します。同時に、評価の際に重要な自閉症の人たちの「学習スタイル」について、詳しく紹介します。	2008
DG-007	親と教師のための 自閉症の子どもの評価:第3巻 評価と課題設定	86分	第1巻～第2巻で学んだ「評価」のプロセスをふまえて考える活動の設定を、さまざまな事例で紹介。評価によって支援を工夫し、子どもが一人で活動できるようにしていきます。	2008
DG-008	親と教師のための 自閉症の子どもの評価:第4巻 自立のための評価	71分	正しい評価によった自立した活動を増やすことで、子どもたちは自信を持ち、満足感や達成感を得ることができます。自立を目指した評価の実際を家庭と学校の事例で紹介。	2008
DG-009	親と教師のための 自閉症の子どもの自立課題 第1巻 自立課題の選び方	64分	自閉症の子どもたちが意味ややり方を自分で理解し、人の指示や手伝いを受けないで1人でできる課題のことです。自閉症の子どもたちの自立課題について、詳しくやさしく解説をしながら紹介した作品です。	2008
DG-010	親と教師のための 自閉症の子どもの自立課題 第2巻 自立課題の作り方	49分	1自立課題の作り方2視覚的構造化3ゲーリー・メジボフ教授の解説4視覚的指示5視覚的明瞭化6視覚的組織化7自立課題を作るポイント8自立課題の作り方9自立課題を作る時の便利グッズ10自立課題が完成する	2008

DG	( 障 が い 者 福 祉 )			制作年
番号	D V D 名	時間	内 容	
DG-011	親と教師のための 自閉症の子どもの自立課題 第3巻 自立課題のできあがり	49分	1自立課題をする前に/2解説/3ワークシステムを作ろう/4評価と手直し/5教え方/6沙椰くんの場合/7将寛くんの場合/8.俊くんの場合/9自立課題をやってみよう/10.うまくいかない理由と対策事例集	2008
DG-012	親と教師のための 自閉症の人が求める支援 第1巻 基礎からわかる構造化 ～よくわかる自立のためのアイデア～	60分	自閉症の人への支援の基本「構造化」について映像化されたDVD。視覚支援だけではない、自閉症の人が求める支援を、佐々木正美教授の案内で明らかにし、ゲーリー・メジボフ教授が特別出演で解説。	2008
DG-013	親と教師のための 自閉症の人が求める支援 第2巻 構造化と再構造化のしかた ～よくわかる自立のためのアイデア～	85分	1構造化のしかた(・評価・物理的構造化・スケジュール・ワークシステム・視覚的構造化)/2再構造化のしかた/3視覚的な手がかりによるグループ活動/4就学前の教室の構造化/5就学前の教室の再構造化	2008
DG-014	親と教師のための 自閉症の人が求める支援 第3巻 自立のための構造化 ～よくわかる自立のためのアイデア～	112分	1構造化による支援の目標/ 2構造化を利用した生活/ 3就学前の教室/ 4小学校の教室/ 5家庭での構造化・学校との連携/ 6中学校の教室/7生活の中の構造化のアイデア/ 8支援施設の構造化/ 9構造化を活かした就労支援/ 10就労現場の構造化	2008
DG-015	親と教師のための 自閉症の人が見ている世界 第1巻 自閉症の人の学習スタイル ～自閉症の人を正しく理解する～	63分	自閉症の人を支援するための「正しい理解」の基本は、この映像を見て学ぶことができます。「視覚的に考える」「独特の注意の向け方」など、自閉症の人の「学習スタイル」をわかりやすく解説しています。	2008
DG-016	親と教師のための 自閉症の人が見ている世界 第2巻 自閉症の人が好むこと ～自閉症の人を正しく理解する～	39分	「学習スタイル」が関連してあらわれる「自閉症の人が好むこと」。これらの特性への理解や、配慮が自閉症の人の教育や支援をする人たちに求められます。同時に、支援の重要な手がかりともなります。	2008
DG-017	親と教師のための 自閉症の人が見ている世界 第3巻 13人のエピソード ～自閉症の人を正しく理解する～	85分	自閉症のご本人やご家族の発言には、深い意味と重みがあります。ご本人それぞれが語る内容には、共通の特性もあります。13人のエピソードは「自閉症の人が見ている世界」を見事に語っています。	2008
DG-018	社会福祉施設等における人権 私たちの声が聴こえますか 人権啓発ビデオ	30分	実際に施設内で行われた人権啓発活動の紹介等「どんな行為が入所者の人権を侵害する行為にあたるのか」ということが自然に理解されるような構成。 施設の運営に人権の観点が必要であることを強調しています。	2007
DG-019	発達障害へのアプローチ 第1巻 解説編 ～代表的な発達障害 及び基本的な対応～	45分	発達障害を疑う子や発達障害のある子に対して、支援者はどのように対応したらよいのか？発達障害の全体像の理解を促すとともに、障害の特徴と指導法を解説する。	2011
DG-020	発達障害へのアプローチ 第2巻 実践編 ～発達障害のある子が 示しやすい10の特徴と指導法～	43分	発達障害を疑う子や発達障害のある子に対して、支援者はどのように対応したらよいのか？発達障害の全体像の理解を促すとともに、障害の特徴と指導法を解説する。	2011

DG	( 障 が い 者 福 祉 )			
番 号	D V D 名	時 間	内 容	制 作 年
DG-021	移動介助ビデオ —車いす編	29分	家庭やボランティアなどで、車いす介助を行う際の服装や、注意点などを解説したDVDです。 福祉学習などでもお使いいただける作品です。	2016
DG-022	移動介助ビデオ —視覚編	21分	家庭やボランティアなどで、視覚障害者の介助を行う際に気をつけたい、声のかけ方、介助方法などを解説したDVDです。 福祉学習などでもお使いいただける作品です。	2016
DG-023	障害者は困っています！ ～合理的配慮へのポイント① ～(肢体不自由、視覚障害、 聴覚障害)	20分	様々な障害別に障害者の実態と日常の困りごとを具体的に示しながら、主に自治体や企業、商店など、障害者と接する機会が多い人たちはどのように対応していけばよいかを、合理的配慮の観点から描いていきます。 ■肢体不自由者の実態と配慮の仕方/ ■視覚障害者の実態と配慮の仕方/ ■聴覚障害者の実態と配慮の仕方/ ■お互いが豊かに暮らせる社会をめざして	2017
DG-024	障害者は困っています！ ～合理的配慮へのポイント② ～(発達障害、知的障害、精神障害)	20分	様々な障害別に障害者の実態と日常の困りごとを具体的に示しながら、主に自治体や企業、商店など、障害者と接する機会が多い人たちはどのように対応していけばよいかを、合理的配慮の観点から描いていきます。 ■発達障害者の実態と配慮の仕方/ ■知的障害者の実態と配慮の仕方/ ■精神障害者の実態と配慮の仕方/ ■お互いが豊かに暮らせる社会を目指して	2017
DG-025	DVDで学ぶビジネススキル・ マナースキル -発達障害者の就労支援	58分	このDVDは、発達障害のある人の就職活動に見られるつまづき・戸惑いや、職業選択、面接練習、そして就職してからの職場定着までを通して、よく起こりがちなエピソードを再現ドラマとして挿入し、解説を加えた。	2013
DG-026	冨雄二ハンセン病とともに生きる -熊笹の尾根の生涯	43分	ハンセン病の強制隔離政策に抗い人権回復を訴え続け、ハンセン病差別撤廃運動の先導者であるとともに、その象徴的存在だった冨雄二。本人や身近な人々へのインタビューを通して、「人間・冨雄二」の生涯を描く。	2017
DG-027	お互いの本当が伝わる時 -障害者- 気づいて一歩ふみだすための 人権シリーズ⑤	24分	障害のある人が、どんな場面で困っているのか、どんな「バリア」があるのかなど具体例を挙げ、それをどう取り除いていけばいいのか、また障害のある人から発信することの重要性も示した作品。	2018
DG-028	支援介助法 第1巻 基本編 障害のある人への痛みを与えないパニック対応スキル	70分	「支援介助法」とは、発達障害や知的障害の人がパニックを起こした時の誘導方法として開発された介助技術です。 第1巻・基本編 <基本的な視点の解説>ほか。	2013
DG-029	支援介助法 第2巻 実践編 障害のある人への痛みを与えないパニック対応スキル	70分	「支援介助法」とは、発達障害や知的障害の人がパニックを起こした時の誘導方法として開発された介助技術です。 第2巻・実践編 <幾つかの実体験のケース>、ほか。	2013
DG-030	合理的配慮～知的障害・発達障害のある人への自立のためのコミュニケーション支援～：第1巻合理的配慮とは	32分	発達障がいや知的障がいの人が自立した生活を送るための支援にとって必要な「合理的配慮」について紹介する。 第1巻内容：合理的配慮の概略について、ほか。	2016

DG ( 障 がい 者 福 祉 )				
番 号	D V D 名	時 間	内 容	制 作 年
DG-031	合理的配慮～知的障害・発達障害のある人への自立のためのコミュニケーション支援～:第2巻合理的配慮の実際～コミュニケーション支援を中心として～	34分	発達障がいや知的障がいの人が自立した生活を送るための支援にとって必要な「合理的配慮」について紹介する。第2巻内容:具体的なアプローチ方法。	2016